

令和7年度青森県発達障がい者支援地域協議会

青森県発達障がい者支援センター「ステップ」

～取組状況及び今後の取組の方向性について～

令和8年1月29日(木)
青森県発達障がい者支援センター「ステップ」



令和7年度青森県発達障がい者支援センター「ステップ」事業

青森県発達障がい者支援センター運営事業	<div>1. 相談支援事業 ※医療相談含む</div> <div>2. 発達支援事業</div> <div>3. 就労支援事業</div> <div>4. 普及・啓発事業</div>
青森県発達障がい者支援体制整備事業	<div>1. 発達障がい児者支援スキルアップ研修</div> <div>(1)アセスメントツール実践研修(PARS-TR・TASP研修会等)</div> <div>(2)公開講座</div> <div>(3)CAREプログラム研修会</div> <div>(4)青森県子どもの発達と行動に関する チェックシート導入研修会</div> <div>(5)青森県子どもの発達支援ガイドブック活用研修会</div> <div>2. 家族サポート応援事業</div> <div>(1)ペアレント・トレーニング指導者養成研修会事業</div> <div>・ペアレント・トレーニング指導者養成研修会</div> <div>・ペアレント・トレーニングフォローアップ</div> <div>・ペアレント・トレーニング(実践事業)</div> <div>(2)ピアサポート推進事業</div> <div>・家族対象研修会</div> <div>・ペアレントメンターによる傾聴事業</div> <div>・ペアレント・プログラム事業</div> <div>3. 発達障がい地域連携強化事業</div> <div>4. かかりつけ医等発達障がい対応力向上研修</div> <div>5. 発達障がい専門医療機関初診待機解消モデル事業</div>

本日の報告事業 (2事業)

青森県発達障がい者支援体制整備事業

1. 発達障がい児者支援スキルアップ研修
『アセスメントツール実践研修
～TASP&SAPLI研修事業～』について
2. 家族サポート応援事業
『ペアレント・トレーニング事業指導者養成
研修事業について』

1. 発達障がい児者支援スキルアップ研修

『アセスメントツール実践研修
～TASP & SAPLI研修事業～』について

TASP (Transitional Assessment Sheet for Preschoolers)

保育・指導要録のための発達評価シート

- ▶ 保育士・幼稚園教諭が作成する「保育記録」を体系化
- ▶ 保育の5領域(言葉・人間関係・環境・健康・表現)に沿った、対象児の具体的な行動を尋ねる129項目を、統計的手法により35項目に選別。
- ▶ 調査形式: 質問紙 他者評定式(保育士、幼稚園教諭など)
- ▶ 質問項目: 適応行動や不適切な行動の有無や程度の評価
35項目 ○・△・×の3段階評定
- ▶ 特徴・活用: 短時間での実施が可能。行動の評定から、対象児の「できていること、困難なこと」の確認や、継続した実施により「成長が見られる面、学年が上がっても難しい面」を見出すこともできる。

TASPの尺度構成

発達特性に応じた3指標7領域(35項目)で構成

①ADHD指標

多動・衝動性

不注意

②ASD指標

社会性困難

こだわり

言葉の遅れ

③DCD(発達性協調運動症)指標

微細運動困難

粗大運動困難

合成変数

外在化指標・・・ 落ち着き + 注意力

内在化指標・・・ 社会性+順応性+コミュニケーション+粗大運動

学業指標・・・ 注意力+コミュニケーション+微細運動

総合指標・・・ 7領域全ての合計

<TASPの評価方法>

- 望ましい行動
(適応行動)

いつでもできる = ○
たまにできる = △
全くできない = ×

- 望ましくない行動
(不適応行動)

全くしない = ○
たまにしてしまう = △
いつもしてしまう = ×

領域ごとに、各項目の「△の数」と
「○の数×2」を算出して合計得点を出す。
→ Vineland-IIと類似

得点が高いほど、
適応行動が多く
不適切な行動が
少ないことを表す。

解釈と支援 (2種類の得点を算出する)

領域得点	7領域の発達障害特性の程度を表す	具体的な発達上の課題を示しているので、それぞれの子どもに対して、「どのような支援を行えばよいのか」具体的な支援の方法を考えるためのヒントとなる
指標得点	実施にどのような不適応問題につながる可能性があるかを表す	複数の領域得点を集約した得点であり、支援の必要性について教えてくれる

出典: 保育・指導要録のための発達評価シートTASP解説書

発行者: 株式会社 スペクトラム出版社

著作権: 保育・指導要録のための発達評価シート開発チーム 監修者: 辻井正次 開発責任者 伊藤大幸 開発副責任者 浜田恵

TASPのまとめ

- 在籍する幼児を対象に、保育士・幼稚園教諭等が評価する質問紙
- 具体的な行動指標を用いているため、**できていること(適応行動)**と**できていないこと(支援課題)**を確認することができ、生活における 子どもへの支援策の検討につながる。
- 従来の保育士・幼稚園教諭による対象児の主観的な評価に加え、同じ月齢帯の幼児における対象児の「**客観的な発達指標**」を算出し、発達を多面的に評価できる。
- 対象児の発達特性と行動特徴の把握を職員間で共有し、就学時に園から学校への引き継ぎ、情報伝達にも活用できる。
→ 情報共有、支援の引き継ぎ、小1プロブレム予防

保育・指導要録のための発達評価シート

TASP

Transitional Assessment Sheet for Preschoolers

解説書

正しく記録し、支援につなげるために



保育・指導要録のための発達評価シート開発チーム

監修者 辻井 正次

開発責任者 伊藤 大幸 開発副責任者 浜田 恵

スペクトラム出版社

遊びと相互作用に関する支援的アセスメント

SAPLI

Supportive Assessment for Play and Interaction in Little Kids

(幼い子どもたちの遊びと相互作用に関する支援的アセスメント)

Ver. 1.1

SAPLI は、幼児期の子どもの遊びを通じた他者との相互作用の現状について知り、社会性発達支援の次の一步を見つけるための個別アセスメントです。
子どもが自発的にできるスキルや楽しめる遊びを知り、他者との自発的・相互的なコミュニケーションを育てる手立てを考えていきましょう。

NPO 法人アスペ・エルデの会

無断転載・複製禁止

『TASP研修会』

(令和7年7月6日(日)開催)

主催:青森県・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」

協力:NPO法人アスペ・エルデの会

令和7年度 青森県発達障がい者支援体制整備事業 発達障がい児者支援スキルアップ研修事業

TASP研修会

(保育・指導要録のための発達評価シート)
～幼児期の適応行動の把握と個別支援計画への方向付け～

【TASPとは?】
TASP(タスプ:Transitional Assessment Sheet for Preschoolers)は、保育園・幼稚園・認定こども園の「要録」作成の際に、客観的な基準で子どもの発達を評価できるシートです。

【客観的な発達の評価とは?】
TASPは、開発にあたって、就学前に見られた子どもの発達の特徴と、就学後の不適応行動の関連について、10年に渡って4,000名以上の子どもたちを保育園から中学校まで追跡調査をしました。こうした大規模な調査によって、一般的な子どもの特徴と比べて、発達障害特性を把握し、その後の学童期以降のリスクを、大規模データを基に予測することが可能です。
従来の保育士・幼稚園教諭の文章による記述と併せることで、より客観的に子どもの発達を評価することができるツールです。

【今回の研修会で学ぶことは?】
TASPを活用して、どのように子どもの状態像を把握していくのか、演習を行いながら進めていきます。TASPは簡単に実施でき、支援の方向性を考えることができます。(個別支援計画への方向付け)
社会性やコミュニケーションの発達支援につながるアセスメントや、どのように実際の保育・指導に活用していくか、どのように子どもとの遊びの様子と組み合わせしていくのかを学びます。

【日時】 令和7年7月6日(日)10:00～16:00
※9:30～受付開始

【会場】 アピオおおもり 大研修室2 (青森市中央3丁目17-1)


【対象】 青森県内の保育士、幼稚園教諭
児童発達支援センター及び児童発達支援事業所職員、障害児相談支援 等

【定員】 50名
※定員になり次第、受付を終了いたします。ご了承ください。
※定員を超えた際には、お断りする場合があります。その際は、こちらからご連絡いたします。

【講師】 中京大学 現代社会学部 ミニテ学専攻 教授 辻井正次氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)
中京大学 心理学部 臨床心理学領域 准教授 浜田恵氏(NPO法人アスペ・エルデの会)
青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 准教授 田中尚樹氏(NPO法人アスペ・エルデの会)

【受講料】無料


【申込締切】令和7年6月27日(金)
【お申込み方法】
☆下記よりお申込みください☆



- ・ 午前講義:「子どもの行動評価から支援につなげる(TASPクラウド)セミナー」
- ・ 午後講義:「幼児期の社会性発達支援 遊びを通してコミュニケーションに働きかける(SAPLI)」
- ・ 県内全域より70名の支援者が参加


『TASP下北 第1回研修会』 (令和7年9月14日(日)開催)

【共催】NPO法人アスペ・エルデの会・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」
青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 田中研究室



TASP下北研修会

(保育・指導要録のための発達評価シート)
～幼児期の適応行動の把握と個別支援計画への方向付け～
及び
「あそびを通した社会性・コミュニケーションの発達状況の把握」に関する
簡易なアセスメント手法



【TASPとは？】
TASP(タスプ: Transitional Assessment Sheet for Preschoolers)は、保育園・幼稚園・認定こども園の「要録」作成の際に、客観的な基準で子どもの発達を評価できるシートです。

【客観的な発達の評価とは？】
TASPは、開発にあたって、就学前に見られた子どもの発達の特徴と、就学後の不適応行動の関連について、10年に渡って4,000名以上の子どもたちを保育園から中学校まで追跡調査をしました。こうした大規模な調査によって、一般的な子どもの特徴と比べて、発達障害特性を把握し、その後の学童期以降のリスクを、大規模データを基に予測することが可能です。従来の保育士・幼稚園教諭の文章による記述と併せることで、より客観的に子どもの発達を評価することができるとするツールです。

【今回の研修会で学ぶことは？】
TASPを活用して、どのように子どもの状態像を把握していくのかを学びます。TASPは簡単に実施でき、支援の方向性を考えることができます。
また、遊びを通した社会性・コミュニケーションの発達状況に関する簡易なアセスメント手法についても学びます。「実際に何から進めればいいのか」を社会発達にフォーカスし、アセスメントから支援の流れについての講義で構成されています。

【事例検討会(第2回目:2/11(水・祝)開催)について】
本研修会は年2回で構成されています。1回目(9/14)の講義を受講された方の中で、実際に地域で本プログラムを実施された支援者と、受講希望者を対象に、第2回目は事例検討会を計画しています。
※令和8年2月11日(水・祝)実施予定。※第2回目の受講は必須ではありません。1回目のみの受講も可能です。

【日時】
(第1回目)令和7年9月14日(日)10:00～16:00
※受付9:30～

【会場】むつ来さまい館イベントホール(むつ市田名郡町10番1号)


【対象】下北地域の保育士、幼稚園教諭、児童発達支援センター及び児童発達支援事業所
相談支援事業所、教育、医療 等 支援者 (定員50名)
※現在、未就学児の支援に携わっている方が対象です。
※定員になり次第、受付を終了いたします。ご了承ください。
※定員を超えた際には、お断りする場合があります。その際は、こちらからご連絡いたします。



【講師】中京大学 現代社会学部 コミュニティ学専攻 教授 辻井正次氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)
中京大学 心理学部 臨床心理学領域 准教授 浜田恵氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)
青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 准教授 田中尚樹氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)

【受講料】無料 ※本事業は、令和7年度日本財団助成事業です(事業受託先:NPO法人アスペ・エルデの会)

【申込締切】令和7年9月11日(木)

【お申込み方法】
☆下記よりお申込みください☆





(共催)

- ・NPO法人アスペ・エルデの会
- ・青森県立保健大学健康科学部
社会福祉学科田中教室
- ・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」

(後援)

- ・むつ市・大間町・東通村

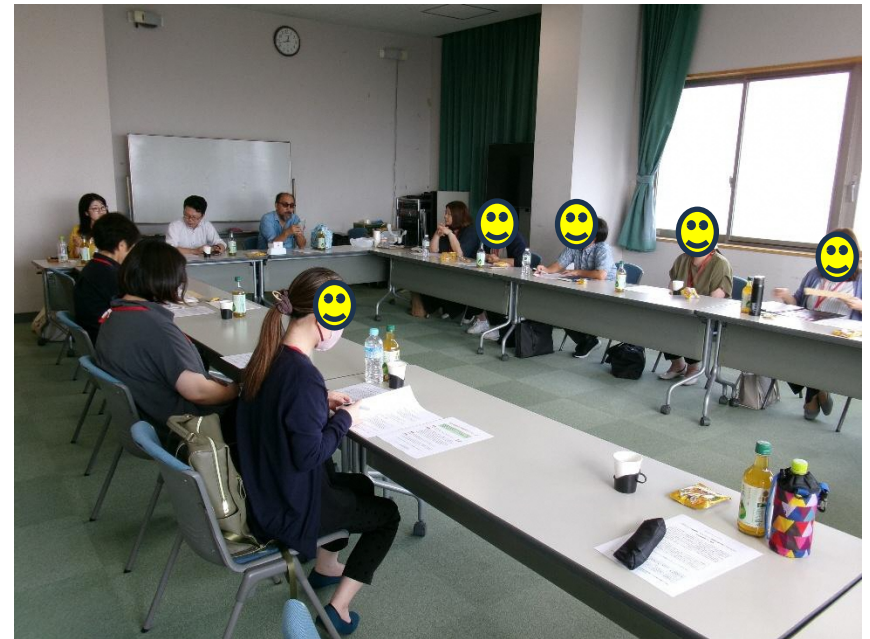
※下北地区をモデル地域として実施。
※下北地区支援者49名の受講あり。

【後援】むつ市(案)・大間町(案)・東通村(案)

【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 TEL:017-777-8201

下北地区の 関係機関で協働しながら実施 『チーム下北』

- 自治体(むつ市・大間町・東通村)
- 児童発達支援センター
- 児童発達支援事業所
- 相談支援事業所
- 県スクールカウンセラー
- 県障がい福祉課
- 県発達障がい者支援センター「ステップ」



『TASP下北 第2回研修会・事例検討会』 (令和8年2月11日(水・祝)開催)

【共催】 NPO法人アスペ・エルデの会・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」
青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 田中研究室

TASP(SAPLI)下北 第2回研修会 事例検討会

Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION

今年度、「TASP下北研修会」を2回構成で開催しています。
第1回目は「講義」、第2回目は「事例検討」のプログラムです。

☆『TASP下北 第1回研修会』は、9月14日(日)に開催し、
○TASPとはなにか？
○客観的な発達の評価とは何か？
○遊びを通じた社会性・コミュニケーションの発達状況に関する簡易なアセスメント手法(SAPLI)について 等

以上に関する学びを行いました。

☆『TASP下北 第2回研修会』では、
下北地域の保育所や児童発達支援事業所、自治体等でのTASP、及び、
SAPLIの取組について、事例報告をいただきます。

お子さん達の発達支援について、みなさんで話し合おう！
みなさまのご参加をお待ちしております。

【日時】
令和8年2月11日(水・祝)10:00～16:00
※受付9:30～

【会場】 むつ来さい館イベントホール(むつ市田名部町10番1号)

【対象】 定員50名(先着順)
○TASP下北第1回研修会(R7.9.14(日)開催)受講者
○下北地区の医療・教育・保育・保健・福祉 等 (本研修会受講を希望する支援者の方)

【講師】 中京大学 現代社会学部 ミニエリ学専攻 教授 辻井正次氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)
青森県立保健大学 健康科学部 社会福祉学科 准教授 田中尚樹氏 (NPO法人アスペ・エルデの会)
NPO法人アスペ・エルデの会 山口 翔氏 (社会福祉士・公認心理師・臨床心理士)

【受講料】無料 ※本事業は、令和7年度日本財団助成事業です(事業受託先:NPO法人アスペ・エルデの会)

【申込締切】令和8年2月2日(月)
【お申込み方法】
☆下記よりお申込みください☆

【後援】むつ市・大間町・東通村

【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 TEL:017-777-8201

(共催)

- ・NPO法人アスペ・エルデの会
- ・青森県立保健大学健康科学部
社会福祉学科田中教室
- ・青森県発達障がい者支援セン
ター「ステップ」

(後援)

- ・むつ市・大間町・東通村

【内容】

- ・下北地区でのTASP&SAPLI実践に
ついて発表(保育所・幼稚園・児童発達
支援センター・児童発達支援事業所・自
治体等の予定)
- ・事例検討会 等

TASP & SAPLI事業の今後の取組案

- 次年度も、下北地区を中心に、勉強会及び事例報告会を継続。
- 今後、下北地区をモデルに、県内各地域へ、本アセスメントを発信していきたい。
- 県内各地域での定着を目指す。

2. 家族サポート応援事業

『ペアレント・トレーニング(PT)事業指導者
養成研修事業について』

～ティーチャーズトレーニング(TT)事業を含む～

ペアレント・トレーニング(PT)指導者養成研修事業

令和7年度青森県発達障がい者支援体制整備事業 家族応援サポート事業

ペアレント・トレーニング ファシリテーター養成研修会

【ペアレント・トレーニングについて】
令和4年6月、「児童福祉法等の一部を改正する法律」(令和4年法律第66号)では、「親子関係の形成の支援」が求められるようになりました。新たに「親子の適切な関係の構築を目的とし、子どもの発達の状況等に応じた支援を行うこと」の重要性から、講義やグループワークを通じて、「子どもの客観的な行動のとらえ方」、「子どもの好ましい行動を増やし、好ましくない行動を減らす対応方法」等、子どもとの関わり方を学ぶためのペアレント・トレーニングなどを市町村の事業として位置付けることにより、深刻な虐待事案に至る前に、親子関係の適切な形成を行うための取組を充実させていくことが望まれました。
都道府県、市町村でペアレント・トレーニング事業など家族への支援が必須とされる現在、共に学び、各地域や機関で始めてみませんか？

本研修会は、知識の習得だけでなく、演習も重要なプログラムとなっています。模擬セッションに保護者役として参加することで、体験的に学ぶ機会を提供します。また、過去に受講して実践した方々の発表も予定しておりますので、実施する際のイメージをより具体的に深めることができます。
皆さまのご参加をお待ちしております。

【日 時】 令和7年8月21日(木)～8月22日(金) ※両日とも10:00～17:00
【会 場】 アビオおもり 大研修室2 (青森市中央3丁目17-1) 受付は9:30～
【対 象】 青森県内の市町村保健師、医療・保健・福祉・教育などの領域において、子どもの支援に携わる者で、下記(1)～(5)の受講対象必須条件を満たす支援者 30名(15機関)
(1)勤務先所属長または管理者の推薦のある方
(2)受講後～次年度内に、ペアレント・トレーニング事業を実施する機関・自治体の職員
(3)各機関より2名1組で参加可能な方 ※各法人2名1組のみ
(4)2日間を通して受講可能な方
(5)受講後、実践のアンケート調査や聞き取り等への回答、今後の研修会などで実践報告ができる機関・自治体の職員
【講 師】 国立障害者リハビリテーションセンター
主任心理判定専門職 **河内 美恵氏**
【受講料】 無料
※指定する資料を各自印刷し、模擬セッションで使用する書籍(税込2,200円)を購入し、持参願います。

【お申込方法】 申込は、①申込書の請求、②記入した申込書の提出の2段階になります。
※本研修は、実践予定者向けです。勉強のための受講希望者は、R7年8月23日の公開講座へ！
【申込先】 aoshien6@adagio.ocn.ne.jp ☆メールで「申込書」の請求をお願いします。
【件 名】 「R7年度ペアレント・トレーニングファシリテーター養成研修会申込書請求」と記載してください。
【申込書請求時の記載内容】 ※下記(1)～(5)の内容を記載し、メールでお申込ください。
(1)ご所属 (2)受講希望者の氏名(ふりがな)2名分、R5・R6の「ペアトレ指導者養成研修会」受講の有無 (3)今までの「ペアトレ指導者養成研修会」受講者の在籍数、受講職員がいる場合にはペアトレ実践の有無 (4)ご所属先電話番号 (5)所属先E-Mailアドレス
※メールでの申込受信後、「申込書」データを申込者様宛に返送させていただきます。
【申込書請求期間】 6月13日(金)～6月27日(金)
【申込書提出締切】 6月30日(月)

【受講決定について】 7月中旬までに受講決定した方へ「受講決定通知書」を送信します。
※先着順ではありません。申込締切後、審査し、受講機関を決定いたします。

【主催】青森県・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」
【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 ☎:017-777-8201

令和7年度青森県発達障がい者支援体制整備事業 家族応援サポート事業
青森県発達障がい者支援センター「ステップ」主催

ペアレント・トレーニング ファシリテーター養成研修会

フォローアップ

【日 時】 令和7年11月28日(金) 15:00～17:00
【実 施】 オンライン (Zoom) 開催
【対 象】 青森県発達障がい者支援センター「ステップ」主催
『令和5年度及び令和6年度ペアレント・トレーニング指導者養成研修』、
『令和7年度ペアレント・トレーニングファシリテーター養成研修会』
☆受講者 ☆オプザーバー ☆インストラクター

【参加料】 無料

【内 容】 (予定)
①県内各機関のペアレント・トレーニングの実施状況等に関する情報交換
②ペアレント・トレーニングを実施する上での課題・悩んでいること
③疑問、知りたいこと、他機関に聞いてみたいこと
等についての話し合いを行います。

※グループでの話し合い (ブレイクアウトルームで)
※全体での話し合い 等

【講 師】 河内 美恵氏

【お申込方法】
右の二次元コード、または下のGoogleフォームからお申込みください。
本事業に関するアンケートもごさいます。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

<https://forms.gle/eNymHc338fHWRfyGA>

【申込締切】
令和7年11月18日(火)

【主催】青森県・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」
【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 ☎:017-777-8201

受講状況について(R5～R7)

保健	自治体保健師
福祉	児童発達支援センター・児童発達支援事業所・放課後等デイサービス、 相談支援事業所・児童相談所
保育	保育園

受講状況について(R5～R7)

令和5年度	
東青地域	5機関
下北地域	2機関
中南・西北五地域	8機関
三八・上十三地域	3機関

令和6年度	
東青地域	3機関
下北地域	4機関
中南・西北五地域	7機関
三八・上十三地域	10機関

令和7年度	
東青地域	3機関
下北地域	2機関
中南・西北五地域	6機関
三八・上十三地域	3機関

令和5～7年度計	
東青地域	11機関
下北地域	8機関
中南・西北五地域	21機関
三八・上十三地域	16機関
合計	56機関

ペアレント・トレーニング事業実施状況

ステップ主催「ペアレント・トレーニング指導者養成研修会」(R5～R7)
受講者及びスタッフ(インストラクター等)の、地域での事業実施状況

※グループセッション実施状況について(R9年1月16日時点 ステップ把握)

青森(東青)地域	6機関
下北地域	5機関
中南・西北五地域	4機関
三八・上十三地域	5機関
20機関	

ペアレント・トレーニング(PT)の実践及び人材育成

【PT実践】

○令和5年より、当センター主催及び共催で保護者参加PT事業を実施。

(全6回のプログラム)

○地域の自治体や事業所等と協働しながら実施。

○当センター職員のPT実践力の向上もねらいとし、実施した。

○青森地区ペアレント・メンターもスタッフとして事業参加をいただいた回もあり。

外ヶ浜町・今別・蓬田

令和7年度 3町村合同ペアレント・トレーニング

ペアレント・トレーニングは、子どもの行動に注目し、親が適切な対応を知り、悪循環を断ち、親子が穏やかに生活できるようになることを学ぶ「親」のためのプログラムです。
この機会に、一緒に学んでみませんか？
★言葉でのやり取りが理解でき、ほめられることで喜ぶお子さんに対して、特に効果が期待できるプログラムです。

セッション	日程	内容
セッション1	令和 7年 8月 9日 (土)	行動のABC・環境調整 行動とは・行動を3種類に分ける
セッション2	令和 7年 8月30日 (土)	肯定的な注目「ほめる」を与える
セッション3	令和 7年 9月20日 (土)	戦略的な無視①～無視のコツ～
セッション4	令和 7年 10月 4日 (土)	戦略的な無視② ～ほめると無視の組み合わせ～
セッション5	令和 7年 11月15日 (土)	効果的な指示の出し方①②
セッション6	令和 7年 11月29日 (土)	まとめ・ふりかえり
フォローアップ	令和 8年 1月17日 (土)	現状報告や悩み等を話せる茶話会

【対象者】 外ヶ浜町・今別町・蓬田村在住の年中～小学校低学年までのお子さんを持つ保護者 6名
【講師】 青森県発達障がい者支援センター「ステップ」職員
【時間】 午前10時～11時30分 ※受付は午前9時45分～
【会場】 蓬田村役場
※託児はありません。

【申込先・問合せ先】 以下の二次元コード(後日保健師から確認の電話をしますので、ご了承ください)、もしくは、お住まいの地域の保健師へ連絡
<https://forms.gle/7V34KrQZiGFEDoej8>

参加費 無料！

締切 7月11日

町	担当保健師	電話
外ヶ浜町 福祉課	担当保健師	電話: 0174-22-2941
今別町 町民福祉課	担当保健師	電話: 0174-35-3004
蓬田村 健康福祉課	担当保健師	電話: 0174-27-2113

★全部で6回シリーズ(フォローアップは除く)となります。
セッション1～6は、前の回で学んだことを土台に積み上げていく「ステップ・バイ・ステップ」方式のプログラムです。全部に参加することをおすすめしますが、ご都合で参加できないときは、各自治体の保健師までお知らせください。

外ヶ浜町・今別町・蓬田村・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」共催
青森県発達障がい者支援センター 家庭サポート応援事業

PT事業参加保護者からの感想

- 子どもの困った言動を増やしているのは自分の言動だったなと改めて気づかされました。
- まずは自分に余裕を持つことが大事だと改めて思いました。怒るよりも褒める方が効果も大きいし、子どもも自分も良い気持ちになれました。
- 子どもを怒る回数が減りました。一步下がった所から子どもを見るようになりました。
- 子どものことを中心に始めたことだが、自分自身の気づきや対応の変化が一番大きく、それが子どもに大きく影響することを理解できました。
- 気持ちにゆとりができました。子どもと接するときにピリピリすることが減りました。
- 子どもをのことをよく見るようになり、ほめることが増えました。
- 効果的な子どもとの関り方を知ることができました。
- 子どもへの対応に自信が持てるようになりました。 等

ティーチャーズ・トレーニング(TT)研修会

○令和6年度、保護者を対象としたPTを学校や保育・幼児教育に係る方々向けに応用したプログラムである、「ティーチャーズ・トレーニング(TT)」研修会を主催。

地域の保育士・幼稚園教諭等対象とし開催した。

○令和7年度は、自治体等主催で、本研修会を開催。

○地域の各機関より、本プログラムをテーマとした研修依頼が増えている。

令和6年度青森県発達障がい者支援体制整備事業 家族応援サポート事業

ティーチャーズ・トレーニング研修会

【ティーチャーズ・トレーニング(Tトレ)とは】

ティーチャーズ・トレーニング(Tトレ)は、保護者を対象とした「ペアレント・トレーニング」を学校や保育・幼児教育に関わる方々向けに応用したプログラムです。
「集団行動への参加が難しい」「じっとしていることが苦手」「好きなことを勝手に始めてしまう」「何度言っても同じことを繰り返す」など、子どもの対応に難しさを感じて、悩むことはありませんか？
Tトレは、「行動」に焦点を当て、ステップ・バイ・ステップで子どもへの具体的な対応方法やコツを得るプログラムです。
子どもにトレーニングをさせるのではなく、大人の方がほんの少し子どもへの対応の仕方を見直していくプログラムです。
今回の研修会では、Tトレの基礎となる、子どもの行動を整理して、伝えるほめ方を中心に学びます。
特別な準備は必要なく、始められます。Tトレと一緒に学びませんか？

皆様のご参加をお待ちしています。

【日 時】 令和6年11月29日(金)10:00～15:00
※9:30～受付開始


【会 場】 県民福祉プラザ2階 多目的室2A (青森市中央3丁目20-30)

【対 象】 青森県内の保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、放課後児童クラブ(学童保育)支援員 等 (定員12名程度)
※定員になり次第、受付を終了いたします。ご了承ください。
※定員を超えた際には、お断りする場合があります。その際は、こちらからご連絡いたします。

【講 師】 青森県発達障がい者支援センター「ステップ」

【受講料】無料

(お申込方法)
☆下記よりお申込みください☆
【申込締切】
令和6年11月8日(金)


<https://forms.gle/ozRQn6ZhY8gPUX6>

【主催】青森県・青森県発達障がい者支援センター「ステップ」
【問合せ先】青森県発達障がい者支援センター「ステップ」 TEL:017-777-8201

令和6～7年度 ティーチャーズトレーニング(TT)事業

年度	本研修事業依頼機関	研修会受講対象
令和 6年度	小学校(東青地区)	小学校教諭
	保育所(東青宇地区)	保育士
令和 7年度	保育所(下北地区)	保育士・小学校教諭 学童クラブ指導員・保健師 等
	自治体(東青地区)	保育士・幼稚園教諭
	教育委員会(上十三地区)	小学校教諭・中学校教諭
	特別支援教育研究協議会(東青地区)	小学校教諭・中学校教諭
	療育福祉センター(東青地区)	保育士・幼稚園教諭 保健師 等

ティーチャーズ・トレーニング研修事業

受講者からの感想

- ロールプレイで自分もほめられることを体験し、「ほめられるってこんなに嬉しいことなんだ」と改めて気づいた。
- 保育士がこどもをほめることが増えたことで、子ども同士でも互いにほめあうことが増えた。大人はこどもの見本であることを再確認した。
- 子どもとの関係が良くなった。
- 子どもを注意すると、自分も気持ちが沈み、立て直すことに時間がかかっていたが、ほめることを意識することで、気持ちが楽になった。心が元気になったと感じる。
- ほめること、そして戦略的無視の意味を理解して関わることで、気持ちに余裕ができた。冷静に、穏やかに話せることが増えた。
- ますます子どもが可愛いと思えるようになった。

ペアレント・トレーニング事業 & ティーチャーズ・トレーニング事業の 今後の取組(案)

- 次年度も、「ペアレント・トレーニング指導者養成研修会」及び「ティーチャーズ・トレーニング研修会」を開催予定。
- 両事業とも、地域の自治体、各機関等と協働して取り組み、県内各地域でのPT事業及びTT事業の定着を目指す。